

一般質問

加藤議員

その他の質問  
 ・全国学力テストについて  
 ・国民健康保険税について  
 ・子どもの医療費助成制度の拡充について

消防団員の報酬改善を

Q 質問

①消防団員、特に一般の団員の報酬は低すぎる。政府は、一定額の報酬と手当を支給するように地方交付税でその額を処置している。現在、一般の消防団員の報酬は年額で1万6千円、手当は1回2千円ですが、政府の単価は、年額で報酬は3万6500円、手当は1回7千円。その差は余りにも大きすぎる。新年度から、交付税に見合う単価に引き上げるべきと思うが見解を伺う。

②昨年12月に「消防団員の報酬・手当を改善するように」という法律と通知が出たが、どう受け止めているのか。

A 答弁

全国の状態を考慮し早い段階での団員確保の対策として、退職報償金の一律約5万円の増額を行うとともに、平成25年5月には「勝山市消防団員数の確保に係る検討委員会」を立ち上げ、団員定年の延長や機能別団員の導入などについて検討、実施をしてきた。今後も引き続き、消防団員の報酬、費用弁償等の処遇改善を含め、検討及び対応をしていく。

福井勝山総合病院について

Q 質問

①福井勝山総合病院地域協議会は、いつ開催されたのか。参加したメンバーと協議された内容について伺う。

②福井勝山総合病院の医師等の確保について伺う。

A 答弁

①第1回目地域協議会は、6月27日に開催され、委員は勝山・大野の両市から医師会・利用者・行政代表が各1名ずつ、奥越健康福祉センターから1名、福井勝山総合病院から1名の合計8名で構成。協議内容については、福井勝山総合病院のホームページに会議録が公開されている。

②県は、福井県医師確保修学資金制度を平成21年度から実施しており、平成29年度に奨学生が医師として勤務する見込みですので、来年度以降、常勤医師の確保について強く県に要望していくとともに、よりよい地域医療機能推進機構の創設をめざすネットワークの幹事市として本部や国に対しても医師確保について要望していく。



消防団によるポンプ車操作法

山内議員

公共交通機関の料金について

Q 質問

勝山市では、運転免許証を返納した場合、その個人はバスの運賃が生涯無料であるが、適用されるのはどこまでの範囲か伺う。そこで、初めから運転免許証を取得していない、例えば80歳以上の高齢者（特に女性）で単身生活されている方には同じような制度を導入していただきたいが市の考えを伺う。

また、介護サービスで要介護2以上の方に對し、福祉サービスとしてタクシーチケットの支援をされているが、要介護1以下の認知症の方についても付き添いの補助者を含めて外出支援が出来ないのか伺う。

A 答弁

勝山市では、65歳以上で自動車運転免許証を自主返納された方には、市内バス路線を永年無料で利用できる乗車券を交付している。高齢者で単身生活をしていられる方のバス運賃無料化については、現行の市内バスの運行経費に對する運賃収入が1割しかないことを考えると、無料で乗車できる対象者をさらに広げることが課題があると考えている。

要介護1以下の認知症の場合については、軽度の認知症であっても身

体育館等公共施設の取り壊しについて

Q 質問

平成30年度の福井国体終了時には、市営体育館や勤労者体育館については、たとえ一部の市民の希望があっても、市長の英断で取り壊すべきと考える。

少子高齢化が進んでおり、人口減、税収減が確実だと思われ、また存続には維持管理費が大変になると考える。市長の見解を伺う。

A 答弁

今後さらに検討を重ね、体育協会や関係する種目団体の意見をお聞きする中で方向性を定め、市民のご理解を得て、新体育館の建設に伴い、市内の体育施設が最大限合理的・効果的に配置されるように努めていく。



市営体育館